

日本経済：毎月勤労統計（6月速報）夏のボーナスは堅調

6月の所定内給与の伸びは前年同月比+2.1%と前月（+2.0%）から小幅に加速した。物価上昇を除いた実質ベースの現金給与総額も▲1.3%と、前月（▲2.6%）からマイナス幅が大きく縮小した。消費者物価（持家の帰属家賃を除く総合）上昇率が前月から減速（+4.0%→+3.8%）したことに加え、ボーナスなどを含む特別給与の伸びがプラスに転じた（▲6.6%→+3.0%）ことが背景。一部で懸念されていたランプ関税による夏のボーナスへの影響は限定的であった。今年度の春闘における賃上げ率が昨年度を小幅に上回ったことなどを踏まえれば、賃金上昇率には加速の余地があるだろう。物価高騰が年後半にかけて沈静化することで、実質賃金は前年同月比でプラス圏へと上昇していくとみている。

実質賃金のマイナス幅が大きく縮小

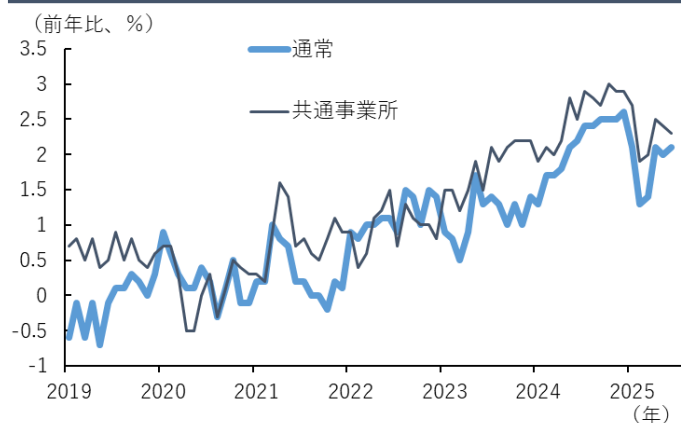
厚生労働省が8月6日に公表した毎月勤労統計調査によると、6月（速報）の所定内給与（基本給）の伸びは、前年同月比+2.1%と、5月（確報）の+2.0%から小幅に上昇した（右図）。当月と前年同月に共通する集計対象のみで比較した共通事業所ベースでは、6月は+2.3%で5月の+2.4%から僅かに減速した。

現金給与総額は、前年同月比+2.5%と、5月の+1.4%から大きく伸びを高めた。ボーナスなどを含む特別給与の伸びがプラスに転じた（▲6.6%→+3.0%）ことが背景。所定内給与と所定外給与（残業代等）の合計である「きまって支給する給与」の伸びも、前月から小幅に高まった（+2.0%→+2.1%）。

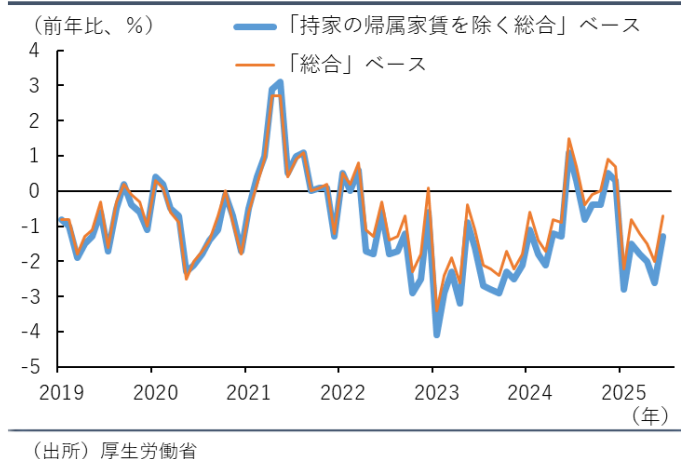
物価上昇分を除いた実質ベースの現金給与総額は、前年同月比▲1.3%と前月（▲2.6%）からマイナス幅が大きく縮小した（右図）。現金給与総額の伸びが高まったことに加え、消費者物価（持家の帰属家賃を除く総合）上昇率が前月から減速（+4.0%→+3.8%）したことが寄与した。

また、3月分から公表されている帰属家賃を含んだ総合の消費者物価で計算された実質賃金は前年同月比▲0.7%と、従来の実質賃金よりも減少幅が0.6%pt小さい。国際比較をするうえでは、この「総合」ベースの実質賃金は比較が容易で有用だ。一方

所定内給与（就業形態計）



実質賃金



で、消費者の生活実感により近いのは「帰属家賃を除く」ベースであると言える。したがって、個人消費の動向を見通すうえでは、「帰属家賃を除く」ベースで実質化した賃金で評価するのが適当であろう。

賃金の伸びには上昇余地

総じて 6 月の毎月勤労統計は、弱めの結果であった前月からは改善したものの、今年度の春闘で妥結した賃上げ率対比ではやや見劣りする結果となった。日本労働組合総連合会（連合）が 7 月 3 日に公表した、今年度春闘の賃上げ率の最終集計は前年比+5.25%と、前年の+5.1%を上回った（右図）。定期昇給を除くベースアップ率（ベースアップ）も、今年度は+3.70%と 2024 年度の+3.56%を上回った。

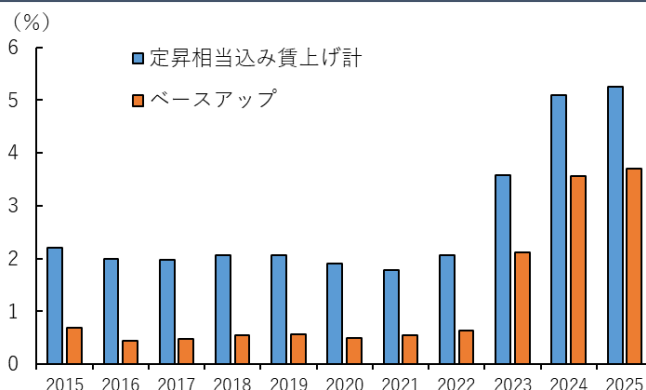
もっとも、現時点では、今年度も高めの賃上げが続くとの見通しを維持する。昨年度も所定内給与の伸びが 2%台半ばまで高まったのは 7 月以降であった。今年度の春闘における賃上げ率が昨年度を小幅に上回ったことを踏まえると、賃金はまだ伸びを高める余地がある。実質賃金についても、物価高騰が年後半にかけて沈静化することで、前年同月比でプラス圏へと上昇していくとみている。

ただし、春闘は労働組合が組成されている比較的大規模な企業が中心となっていることなどから、春闘の結果ほどには高い賃上げ率とはならない可能性が高いだろう。実際、2024 年から一般労働者の所定内給与の伸びが春闘でのベースアップに届かない状況が続いている。背景としては、昨年は労働組合の有無によって賃金上昇率に大きな差が生じたことが挙げられる（右上図）。今年度も同様の状況が続いていると想定すると、所定内給与の伸びも昨年と同程度に落ち着くと考えられる。

トランプ関税によるボーナスへの影響は確認できず

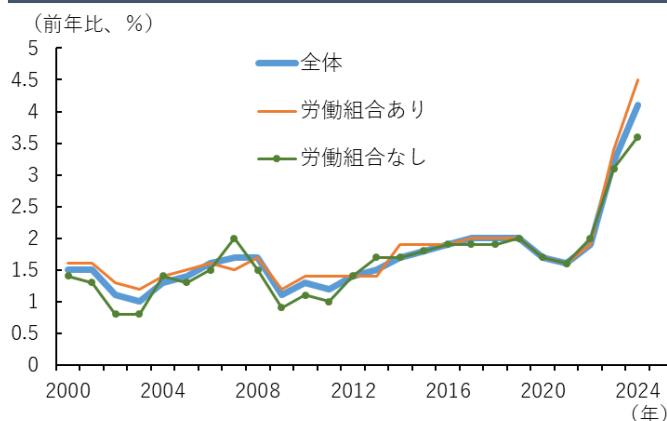
一部で懸念されていたトランプ関税による夏のボーナスへの影響は限定的であった。特別給与の伸びは+3.0%と、2024 年 6 月の+7.8%には届かなかったものの、堅調な伸びとなっている。ただし、自動車関税引き下げの時期が遅れたり、医薬品や半導体など詳細が不透明な一部の品目で高い関税率が課されたりすれば、今年度の企業収益の重石となり、今冬のボーナスや来年度の春闘に悪影響を及ぼす可能性がある。今後も動向を注視する必要がある。

春闘での賃上げ率



(出所) 日本労働組合総連合会

労働組合有無別の賃上げ動向



(出所) 厚生労働省